

※店舗ごとに作成し、当該店舗の支給額を支給申請書に転記後、併せてご提出ください。

別添 1

店舗ごとの協力金支給申請額計算書

店舗名 (屋号)	
----------	--

以下のフロー図の質問を基に、該当する計算方法を選択していただき、数値を入力してください。
支給額等を必ずご確認の上、「上記内容で申請します」にチェックしてください。

【売上高方式】 ※売上高は、飲食部門における消費税及び地方消費税を除いた金額とすること。

中小企業又は個人事業主ですか？

※ 中小企業は、飲食業については資本金の額又は出資の総額が5,000万円以下の会社又は常時使用する従業員の数が50人以下の会社及び個人。

ただし、カラオケなどのサービス業については、資本金の額又は出資の総額が5,000万円以下の会社又は常時使用する従業員の数が100人以下の会社及び個人。

はい

いいえ

令和元年又は令和2年いずれかの6月の売上高は1日あたり83,333円を超えますか？
(1日あたりの売上高 = 6月の売上高 ÷ 30)

売上高減少方式で申請
(裏面へ進みます)

はい

いいえ又は不明

令和元年又は令和2年いずれかの6月と令和3年の6月の売上高減少額が1日あたり25万円を超えている場合は、売上高減少方式も選択可能です。

支給額は1日あたり2.5万円です。
以下を記入して支給額を確定してください。

25,000 円	×	時短協力日数	=	当該店舗への支給額
		7 日		175,000 円

上記内容で申請します (確定申告等の写しは不要)

支給額の計算が必要です。以下を記入して支給額を確定してください。

令和元年又は令和2年6月の売上高					
①	円	÷	30 日	×	0.3
				=	②
					円

※2,499,990円未満は入力できません (下限額での申請となります)。

※確定申告書等の写しが必要です。

※最大7.5万円

千円単位切上

1日あたりの支給単価
③
円

1日あたりの支給単価	×	時短協力日数	=	当該店舗の支給額
③	円	④		⑤
		7 日		円

上記内容で申請します

※店舗ごとに作成し、当該店舗の支給額を支給申請書に転記後、併せてご提出ください。

【売上高減少方式】 ※売上高は、飲食部門における消費税及び地方消費税を除いた金額とすること。

令和元年又は令和2年いずれかの6月と比べて
令和3年の6月の売上高は減少していますか？

はい

いいえ

申請できません
(中小企業者等の場合は、売上高方式(前頁)により申請できます)

支給額の計算が必要です。以下を記入して支給額を確定してください。

令和元年又は令和2年6月の売上高 ① 円	-	令和3年6月の売上高 ② 円	=	①-② ③ 円
③ 円	÷	30 日 × 0.4	=	④ 円
				千円単位切上
				1日あたりの支給単価(ア) ⑤ 円
令和元年又は令和2年6月の売上高 ① 円	÷	30 日 × 0.3	=	⑥ 円
				千円単位切上
				1日あたりの支給単価(イ) ⑦ 円

※⑤、⑦及び20万円のうち、最も低い金額を1日あたりの支給単価とします。

1日あたりの支給単価 ⑧ 円	×	時短協力日数 ⑨ 7 日	=	当該店舗の支給額 ⑩ 円
-------------------	---	-----------------	---	-----------------

上記内容で申請します